

第50回船舶乗組員大会

7月11日(水)に宮古市において、船舶乗組員大会が開催され、りあす丸、海翔の乗組員17人と本部から遠藤高現組委員長はじめ5人が参加しました。大会では、専用岸壁がないことによる船舶移動の負担や、船の老朽化による安全確保面での懸念、宮古港のテロ対策のゲートの開閉にかかる負担、荒天時の避航の港による待遇の違い等、現場で直面する様々な問題点や懸念が話されました。一堂に会することが難しい乗組員の皆さんの貴重な交流の場となりました。課題解決に向けて、高教組も高現組と一緒にとりくみをすすめます。



要望書について提案する越戸船舶部長（中央）



懇親会が始まります

第1回再任用者学習会

6月22日、盛岡市繋のホテル愛真館で18年度第1回再任用者学習会を再任用組合員9人の参加で開催しました。高教組、高現組それぞれで、「再任用制度」「新昇給」「職場実態」について意見を交わしました。また、参加できなかった方々からは、多くのアンケートの回答を寄せていただきました。高教組は、退職後の雇用のあり方、60歳代の働き方について広く議論し、意識改革や制度の見直しが必要と考えます。そのためにも、再任用教職員の高教組・高現組継続加入を拡大し、私たちの生活と権利を守るとりくみを強化していきましょう。



熱心に説明を聞く参加者

再任用組合員を歓迎します

再任用者の中で、継続して組合員になっている方に、記念品のルーペを贈呈しています。現在の再任用制度は、勤務実態や給与面での課題も多く、高教組はこの問題に引き続きとりくんでいきます。

